

資産運用に関する

総合商品

ラインアップのご案内



1F1909004-001(1)



SPA-230004-J

CARBON EMISSION

5,393 kg-CO₂

▶ 0

この印刷物は、CO₂排出量を算定し、カーボンオフセットすることで、CO₂排出量を実質ゼロにしています。

CNP-278775 (35,000copies)

三井住友銀行

資産運用に関する 総合商品ラインアップのご案内

Contents 目次

- [02](#) はじめに
- [03](#) 目的にあった商品のご紹介
- [05](#) 投資信託
- [07](#) ファンドラップ
- [09](#) 外貨預金
- [11](#) 個人向け国債
- [12](#) 債券（金融商品仲介）
- [13](#) 積立商品・サービス
- [14](#) 平準払保険
- [15](#) 個人年金保険
- [16](#) 一時払終身保険
- [17](#) 留意点
 - [17](#) 投資信託に関する留意点
 - [17](#) NISA 口座に関する留意点
 - [18](#) 個人型確定拠出年金(iDeCo)に関する留意点
 - [18](#) SMBC ファンドラップに関する留意点
 - [19](#) 外貨預金に関する留意点
 - [19](#) 個人向け国債に関する留意点
 - [19](#) 金融商品仲介に関する留意点
 - [20](#) 生命保険全般に関する留意点
- [21](#) 「お金の色分け」シート

本パンフレットおよび各商品の留意点

○本パンフレットおよびご案内するしくみ図は、三井住友銀行が取扱商品の主な特徴・商品性等をもとに表示したイメージであり、実際に商品に投資した場合と、特徴・商品性は異なります。また、将来の運用成果等を保証するものではありません。

○本パンフレットでご案内する商品には、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る

変動を直接の原因として損失が生じるリスクがあります（リスクの詳細は商品ごとに異なります）。また、購入・保有・解約等にかかる手数料は商品ごとに異なりますので表示することができません。

○各商品のリスクや手数料等については、各商品の説明書等でご確認ください。説明書等は、当行の窓口にてご用意しております。

はじめに

「お金の色分け」で目的を明確化し、
お客さまに適した商品をご紹介します



当面の生活費として確保しておくお金

ある程度の期間の「予備の生活費」は確保しておきましょう

使いみちの決まっているお金

マイホームの購入資金、お子さまの教育費・結婚資金等、ライフイベントで決まっている必要お金を確保しましょう

当面使う予定のないお金

今後の人生計画とあわせて「準備する資金」

当面使う予定のないお金を、
さらに目的別に「色分け」すると・・・

老後のための
お金

大切な方へ
のこすお金

万一のために
備えるお金

使いみちの
決まっていない
お金

巻末の「お金の色分け」シートを活用し、お客さまの目的にあった「お金の色分け」をしましょう



目的にあった商品のご紹介

お客さまのニーズ、ライフステージ

使いみちの決まっているお金

ためる

実現したい時期にあわせて、無理なく貯める商品があります。

●一般的には

定期預金

安全性重視でムリなく準備

期間 1ヵ月～10年

●使いみちの決まっているお金についてはこちらも

個人向け国債

期間 3年、5年、10年からお選びできます

P.11 ▶

●計画的に時間をかけて積立していく

外貨・投信自動積立

P.13 ▶

積立預金

P.13 ▶

当面使う予定のないお金

老後のためのお金

ふやす

年金

どんなセカンドライフを過ごしたいかを考え、使い方、受け取り方によって適切な商品を選びましょう。

●一般的には

投資信託

P.05 ▶

少額から始められる資産運用

●目的によってはこちらも

ファンドラップ

P.07 ▶

債券（金融商品仲介）

P.12 ▶

外貨預金

P.09 ▶

個人年金保険

P.15 ▶

個人向け国債

P.11 ▶

大切な方へのこすお金

おくる

自分に万一のことがあった場合、ご家族等大切な方へ確実にのこすため、上手なのこし方を考えてみませんか。

●一般的には

一時払終身保険

P.16 ▶

万一に備えて準備する保障

●目的によってはこちらも

平準払保険

P.14 ▶

個人年金保険

P.15 ▶

万一のために備えるお金

そなえる

医療費や介護費用等、まとまったお金が必要になります。万一のための備えに適した商品を選べます。

●一般的には

平準払保険

P.14 ▶

予期せぬ支出に備える保障

●目的によってはこちらも

一時払終身保険

P.16 ▶



必ずご確認ください

○3～4ページの商品カテゴリーはあくまでも例示です。各カテゴリーに記載のない商品も含めて、お客さまのニーズにあった商品をご検討ください。
○3～4ページでご案内する商品には、金利、通貨の価格、金融商品市場におけ

る相場その他の指標に係る変動を直接の原因として損失が生じるリスクがあります（リスクの詳細は商品ごとに異なります）。また、購入・保有・解約等にかかる手数料は商品ごとに異なりますので表示することができません。

にあわせた商品をお選びください



使いみちの 決まっていないお金

お金の「守り方」「育て方」を考え、お客さまの考え方にあった商品を検討できます。

変動性・収益性の見方
星の数が少ないと低く、多いほど高くなります。

低☆☆☆

高★★★★

★はあくまで目安です。

各商品の変動性・収益性等については商品説明の際に別途ご説明します。

		変動性	収益性	期間
定期預金				
安全性重視でムリなく準備		☆☆☆	☆☆☆	短期 中期 長期
投資信託	P.05 ▶			
少額から始められる資産運用		☆☆☆ }	☆☆☆ }	中期 長期
ファンドラップ	P.07 ▶			
一人ひとりにあわせた運用プランの提供		★★☆	★★☆	中期 長期
外貨預金	P.09 ▶			
為替リスクを学んで賢く外貨資産をつくる		★★☆	★★☆	短期 中期 長期
債券（金融商品仲介）	P.12 ▶			
定期的に決まった利金を受け取る		☆☆☆ }	☆☆☆ }	中期 長期
個人年金保険	P.15 ▶	保険商品は目的や保障内容によって商品をお選びいただけます。 くわしくはP.15～P.16にて記載しています。		長期
一時払終身保険	P.16 ▶			長期
万が一に備えて準備する保障				

上記は一般的な傾向であり、実際に投資した場合と異なることがあります。
上記分類は、当行が分類したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

○各商品のリスクや手数料等については、各商品の説明書等でご確認ください。
説明書等は、窓口にてご用意しております。

投資信託

少額から複数の株や債券への投資が可能。
分散投資でリスクを抑えつつ、運用は専門家にお任せ。

少額から始める資産運用

◎ メリットは？

- 少額から、世界中のさまざまな資産へ投資ができます。
- 投資先や、投資する時期を分散することで、値動きを安定させることも可能です。

❗ 気をつける点は？

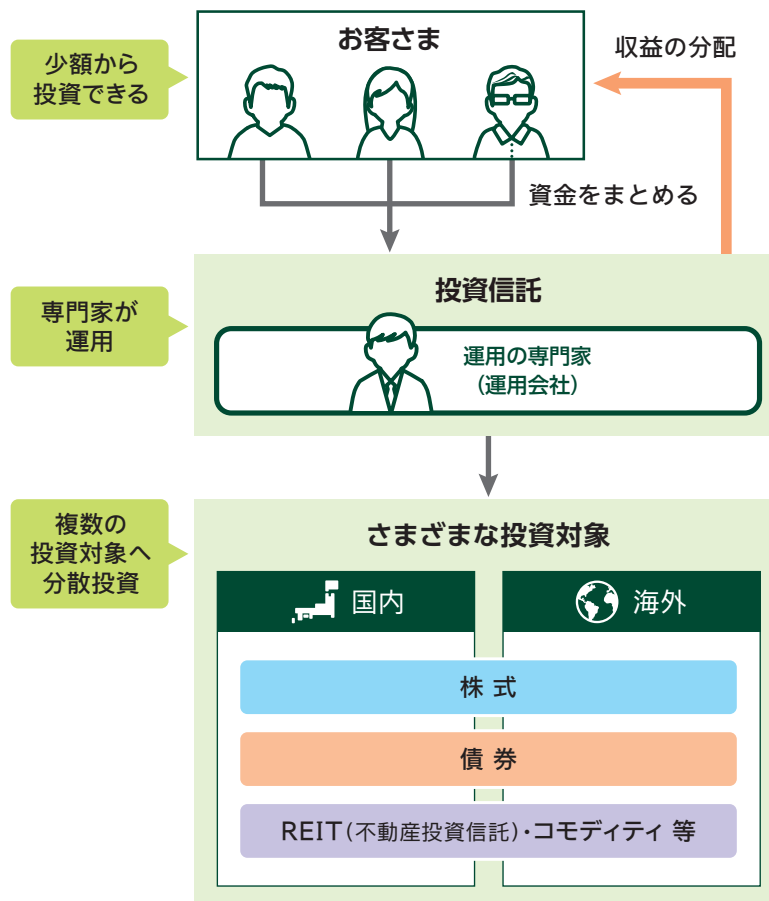
- 運用成果によっては、元本を下回る可能性があります。
- 購入時等に手数料がかかる場合があります。



初心者の方は
積立購入がおすすめ！
▶くわしくは13ページ

投資信託のしくみ

投資信託は、たくさんのお客さまから集めた資金をひとつにまとめ、運用の専門家が国内外の複数の株式や債券等に投資・運用する金融商品です。



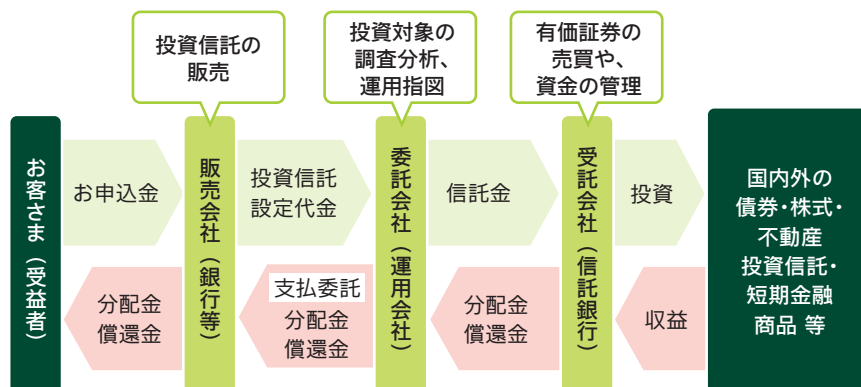
上記はイメージです。



制度・しくみの説明

投資信託を支える各社の役割

それぞれの分野の専門家が販売、運用、資産の管理を分担しています。お預かりしたご資金は、受託会社で、他の信託財産と「分別して管理」していますので、各金融機関が万一破たんしてもお預かりしたご資金には影響は及びません。



選べる投資対象

さまざまな種類の投資信託からお客さまの意向にあったものをお選びいただけます。

投資先の資産によって、リスクや期待できるリターンは異なります。

安定した値動きで
着実に運用したい

バランス型

特徴

一つの投資信託で株式や債券等、複数の資産に投資。分散投資することで値動きを安定させる効果が期待できる。

大きな値上がりを
期待したい

株式型

特徴

株式での運用により、大きな値動き（値下がり）を許容しながら、大きな値上がりを期待できる。

リスクを抑えて
運用したい

債券型

特徴

国や企業が発行する債券に投資。株式よりもリスクを抑えた運用が期待できる。



おすすめポイント

国の制度を活用して、賢く投資を始めよう

	NISA NISA制度(2024年1月～)	
	つみたて投資枠	成長投資枠
利用可能年齢	日本国内に在住の18歳以上の方※1	
非課税投資枠	120万円/年	240万円/年
非課税期間	無期限	
生涯非課税限度額	合算で1,800万円以内※2	
	1,200万円以内	
口座開設可能期間	無期限	
投資対象商品	一定の条件を満たす投資信託等※3	一定の上場株式、ETF、投資信託等
投資対象商品にならない商品(例)	—	①信託期間が20年未満の投資信託等 ②デリバティブ取引を用いた一定の投資信託等 ③毎月配分型の投資信託等

※1 口座を開設する年の1月1日時点

※3 一定の指数に連動するもののほか、手数料や信託期間、純資産

※2 生涯非課税限度額に達した場合でも、口座内で売却することで枠の再利用が可能

等について一定の条件を満たす商品に限られます。

iDeCo

拠出時、運用時、受取時に税制優遇を受けられる制度です

個人型確定拠出年金「iDeCo」は、**自分でつくる自分のための年金**です。

月々
5千円から積立可能

3つの税制優遇

原則60歳から
受け取れる

ポータビリティ

勤務先で企業型DCに加入していた場合、退職後にiDeCoへ資産を移換することができます。

- 企業型DCの加入期間を引き継ぐことができます。
- 掛金の拠出期間は一時金受取りを選択した際に退職所得控除の勤続年数として計算されます。

早期退職・定年退職

企業型DC
資格喪失

制度移換

加入資格を満たせば
65歳まで積立可能

iDeCo

- 掛金の所得控除
- 運用益は非課税
- 受取時の控除

ファンドラップ

お一人おひとりにあわせた運用プランの提供。
運用開始後の資産配分の見直しもお任せ。

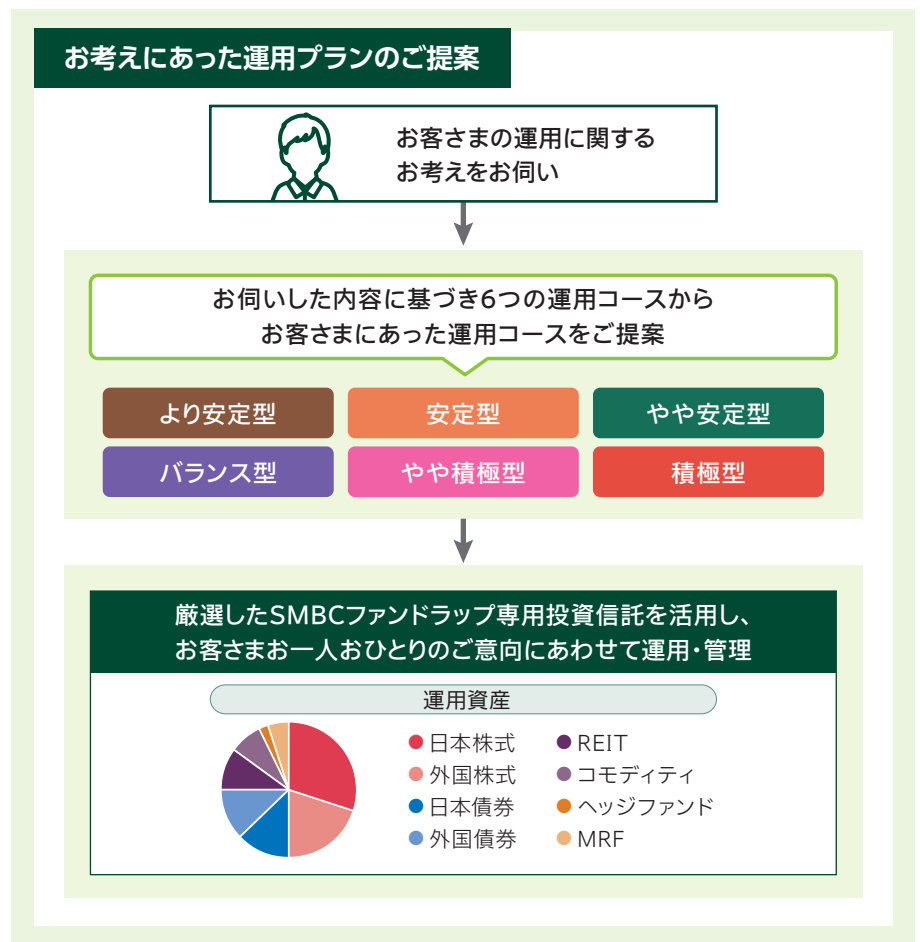
SMBCファンドラップは運用のスタートからゴールまでをサポート

◎ メリットは？

- ご資産の運用に関する専門的な知識や、運用を行う時間・手間がなくても、三井住友銀行とSMBC日興証券がお客さまの資産運用を全面的にサポートします。
- SMBCファンドラップでは、専用の投資信託に投資することで効率的に分散投資をします。

❗ 気をつける点は？

- 市場環境の変化等により、運用対象の価格が変動します。運用結果によってはお客さまが損失を被り、投資元本を割り込むおそれがあります。

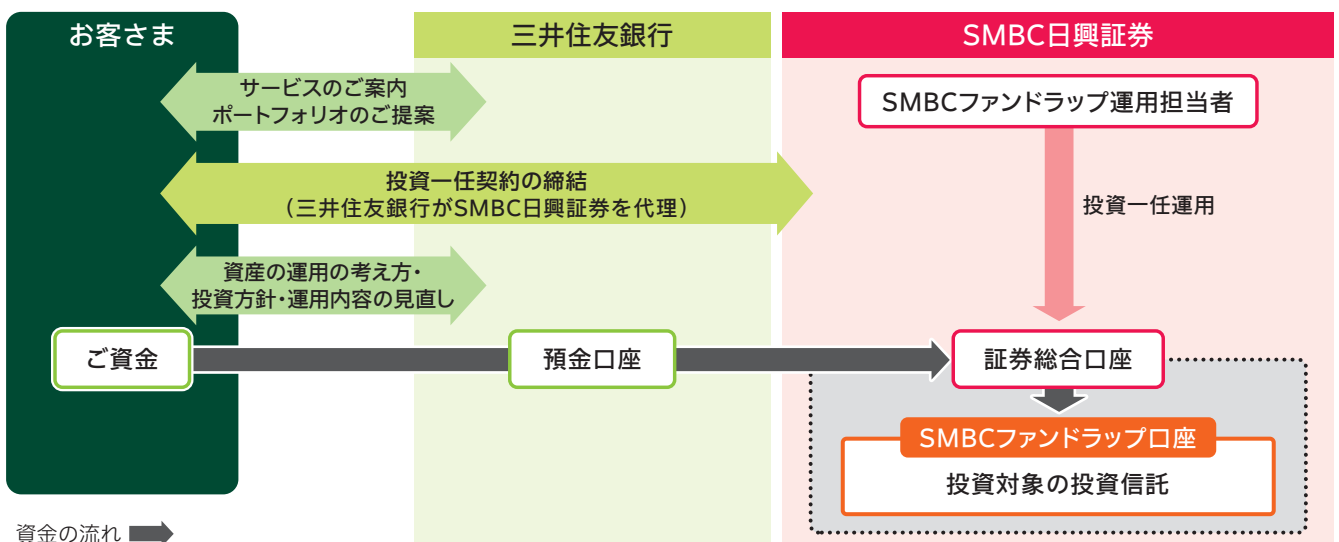


上記はイメージです。

制度・しくみの説明

三井住友銀行とSMBC日興証券が資産運用をサポート

SMBCファンドラップは、SMBC日興証券が提供する投資一任運用サービスで、三井住友銀行がSMBC日興証券の代理人となりお客さまに案内します。



資産運用のお悩みを解決

SMBCファンドラップは、お客さまにかわって資産を守り育てます。

資産運用といっても
何をすればいいんだろう

分散投資がいいとは聞くけど何に
どれだけ投資すればいいんだろう

運用を始めた後の管理って
どうすればいいんだろう

SMBCファンドラップなら



お考えにあった 運用プラン (資産配分)の提案

お伺いした内容をもとに、
最適と考えられる
資産配分の運用プランを
ご提案します。



運用開始後の 資産配分の 見直しもお任せ

お客さまごとの
資産配分比率を調整し、
ポートフォリオごとに資産配分を
維持・管理します。



定期的なフォロー

担当者による運用状況のご報告、
ご意向やご不明点の確認だけでなく、
書面や動画等にて定期的に
情報をご提供します。



おすすめ ポイント

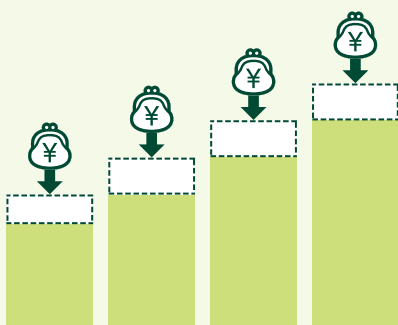
さまざまなニーズに応えるサービス機能等

お客さまのライフステージやニーズの変化に対応可能なさまざまなサービス機能等をご用意しています。
自由にカスタマイズしながら、長期間保有いただける仕組みです。

定期積立

あらかじめご指定いただいた積立金額、積立頻度や引落月をもとに、お客さまご指定の銀行預金口座から定期的に積立金額を引き落とし、SMBCファンドラップに追加入金するサービスです(最低10万円から可能)。

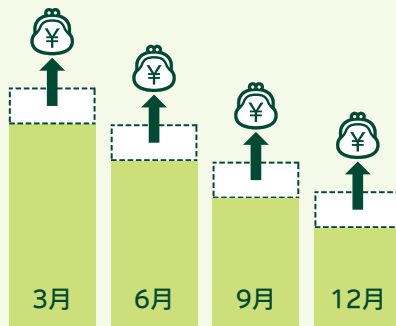
【定期積立のイメージ】



定期定額払出

あらかじめご指定いただいた金額相当分を定期的に一部解約し、お客さまの銀行預金口座に送金するサービスです(ただし、ご契約金額が1,000万円以上のお客さまのみ利用可能)。

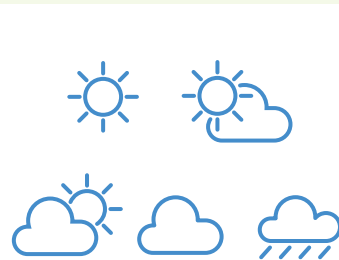
【定期定額払出のイメージ】



目標設定

お客さまの夢や目標をお伺いし、具体的な目標金額、運用期間を設定することが可能です。三井住友銀行のタブレットやレポートで進捗状況をご確認いただけます。

【進捗状況をお天気マークで確認】



外貨預金

外貨預金とは、日本円を(米ドルやユーロ等の)外国の通貨に替えて預け入れる預金です。

為替リスクを学んで賢く外貨資産をつくる

◎ メリットは？

- 円預金より金利の高い通貨もあります。
- お預け入れの通貨が円に対して強くなれば(為替相場が円安に推移すれば)、為替差益が期待できます。

当行取扱通貨(18通貨)

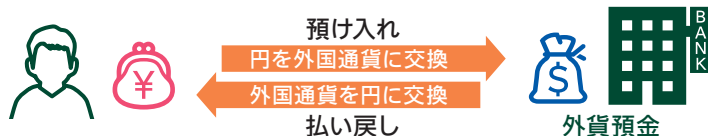
- | | |
|--------------|--------------|
| ▶ 米ドル | ▶ スウェーデンクローネ |
| ▶ ユーロ | ▶ デンマーククローネ |
| ▶ 英ポンド | ▶ ノルウェークローネ |
| ▶ スイスフラン | ▶ 中国人民幣 |
| ▶ 豪ドル | ▶ 香港ドル |
| ▶ ニュージーランドドル | ▶ タイバーツ |
| ▶ カナダドル | ▶ シンガポールドル |
| ▶ ブラジルレアル | ▶ トルコリラ |
| ▶ メキシコペソ | ▶ 南アフリカランド |

! 気をつける点は？

- お預け入れの通貨が円に対して弱くなれば(為替相場が円高に推移すれば)、為替差損が発生し、元本割れとなるリスクがあります。
- お預入時、払戻時には、為替手数料をご負担いただくため、為替相場に変動がない場合でも、元本割れとなるリスクがあります。

外貨預金のしくみ

円預金では日本円を預け入れて、日本円で払い戻すところ、外貨預金では、**日本円を外国通貨に交換して預け入れ、外国通貨を日本円に交換して払い戻す**取引に変わります。



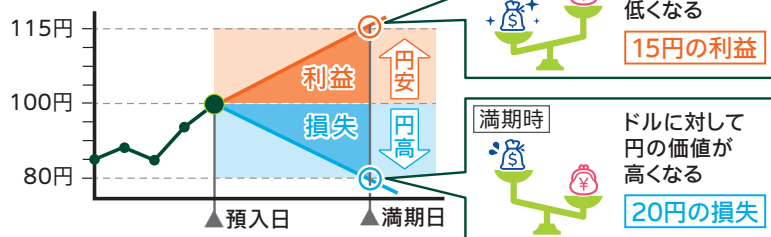
外貨預金の特徴

$$\text{外貨預金のリターン} = \text{為替差益} + \text{金利(利息)}$$

為替変動による利益が狙えること(円安時)、円預金よりも高い金利が受け取れることの2つのメリットが期待できます。

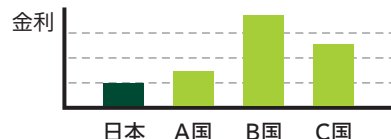
為替差益

例: <お預入時のレート> 1米ドル = 100円の場合



金利(利息)

日本より金利の高い国や地域があります。



上記はイメージです。



手数料について

為替手数料がかかります

円貨を外貨に替えるとき、外貨から円貨へ戻すときではレートが異なります。

TTS

<お預入時>
円を**外貨**に交換するときのレート

TTB

<お引出時>
外貨を円に交換するときのレート

為替手数料のしくみ 例: 米ドル仲値1ドル=100円の場合

TTS
101円

仲値(※1)
100円

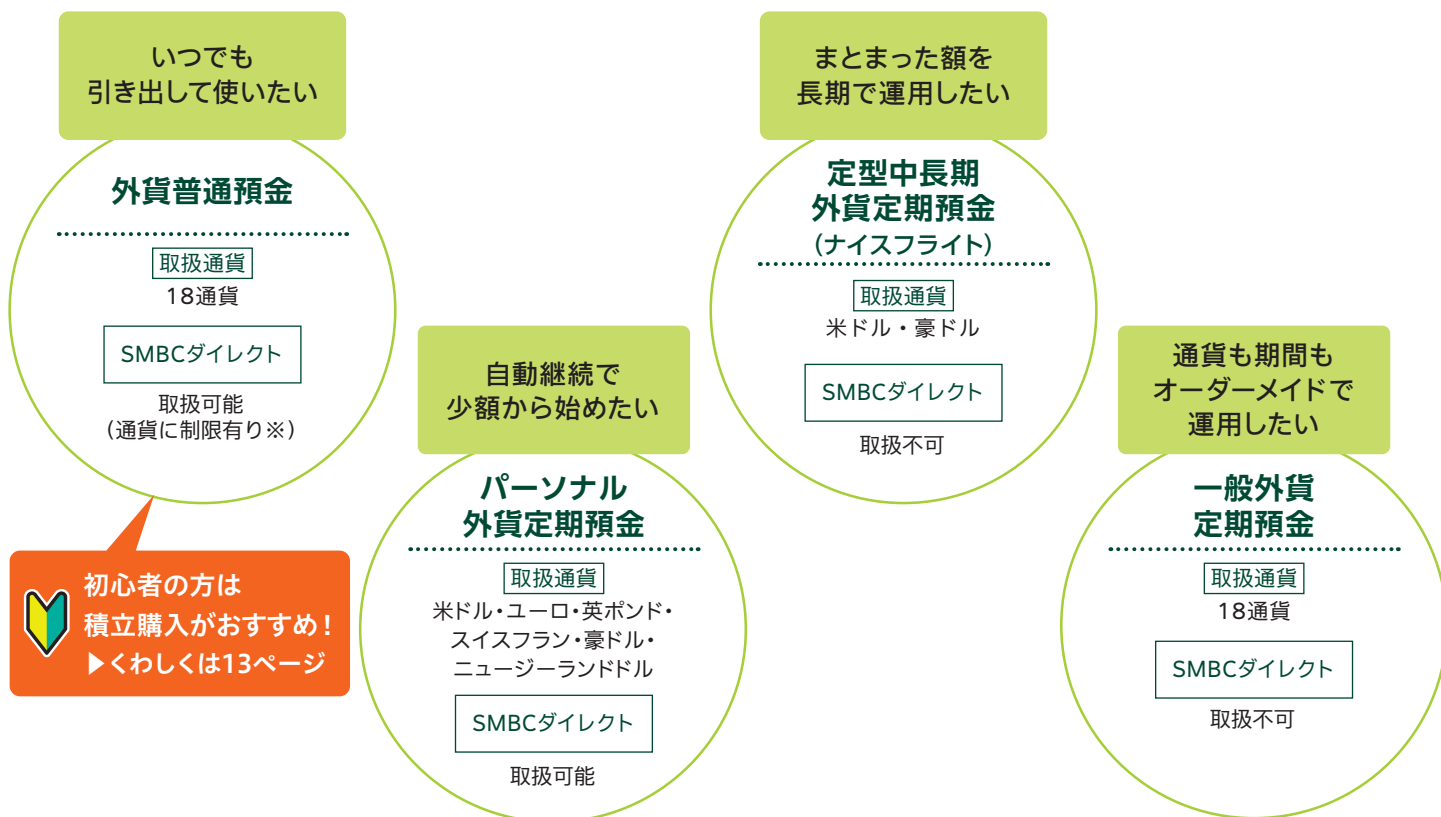
TTB
99円

※1 仲値とは市場レートを参考に銀行が設定した基準となるレートです。
※2 為替手数料は通貨により異なります。

- 10万米ドル相当額以上のお預け入れの場合は、為替レートは原則市場実勢相場を用います。
くわしくは窓口までお問い合わせください。

外貨預金の商品ラインアップ

当行ではさまざまな商品ラインアップをご用意しております。



※米ドル、ユーロ、英ポンド、スイスフラン、豪ドル、ニュージーランドドルのみ
SMBCダイレクトでの取扱が可能です。



おすすめ
ポイント

便利な「SMBCダイレクト」(インターネットバンキング) もご活用ください



POINT 1 アプリで口座開設からお取引までかんたん

POINT 2 平日24時間、好きなときにお取引

POINT 3 時々刻々と変化するリアルタイムレートでお取引



さらに、為替手数料も割引 くわしくは当行ホームページよりご確認ください

必ずご確認ください

本商品の留意点は19ページをご覧ください。

個人向け国債

日本国が発行し元本や利子を支払う
個人専用の国債です。

貯蓄から投資への第一ステップ

◎ メリットは？

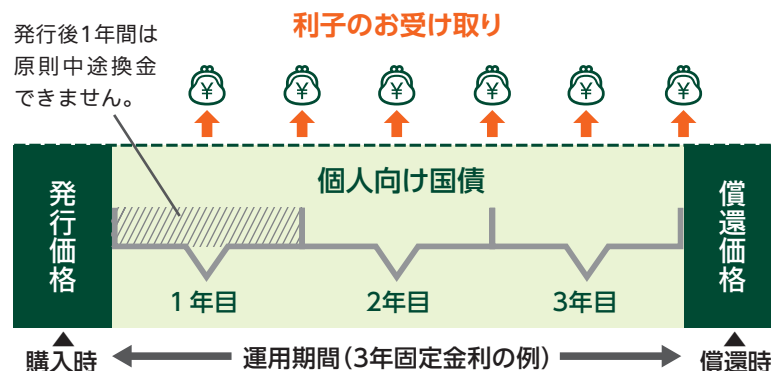
- 発行体の信用度が高く、安定性が比較的高い債券です。
- 定期的に利子が支払われます。
- 経済環境等により、実勢金利が下落した場合でも、0.05%の最低金利が保証されます。

! 気をつける点は？

- 発行後、中途換金できない期間があります。
- 中途解約の場合等、元本割れが生じるリスクがあります。
- 通帳式の場合、最大年1,320円(税込)の口座管理手数料がかかります。

個人向け国債のしくみ

1万円から1万円単位で購入可能で、半年ごとに年2回の利払があります。



上記はイメージです。

個人向け国債の商品ラインアップ

3、5、10年の3種類の期間をご用意しています。(最低利率 年利0.05%保証)

短期で運用をしたい

固定金利型3年満期

利払

年2回の利子支払い

利率

固定金利

発行価格

額面100円につき100円

中期で運用をしたい

固定金利型5年満期

利払

年2回の利子支払い

利率

固定金利

発行価格

額面100円につき100円

長期で運用をしたい

変動金利型10年満期

利払

年2回の利子支払い

利率

半年ごとの変動金利

発行価格

額面100円につき100円

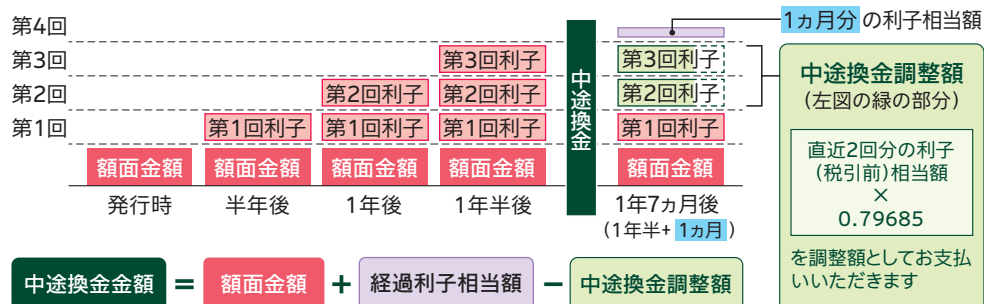


制度・しくみの説明

中途換金のしくみについて

発行から1年が経過すれば中途換金することができます。その場合の中途換金金額は、右記のようになります。

※中途換金金額は、おおむね2営業日後に支払われます(くわしくは担当者におたずねください)。



債券（金融商品仲介）

投資が初めての方に、わかりやすい運用を。
決まった金額の利金を、決まった期間受け取ることが可能。

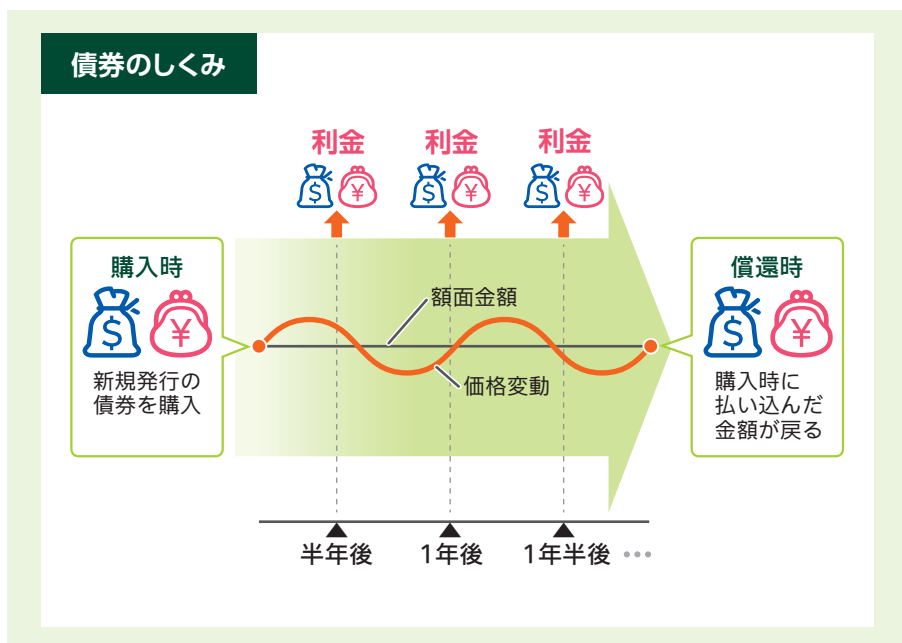
定期的に決まった利金を受け取れます

◎ メリットは？

- 利率・発行価格・償還期限等の発行条件が決まっており、わかりやすい商品です。
- 新規発行の債券を購入すると、定期的に利金を受け取ることができ、満期償還時に、購入時払い込んだ金額が戻ってきます。
- 債券の価格は日々変動しておりますので、途中売却することにより、購入価格と売却価格との差額を売却益として受け取ることができる場合もあります。

❗ 気をつける点は？

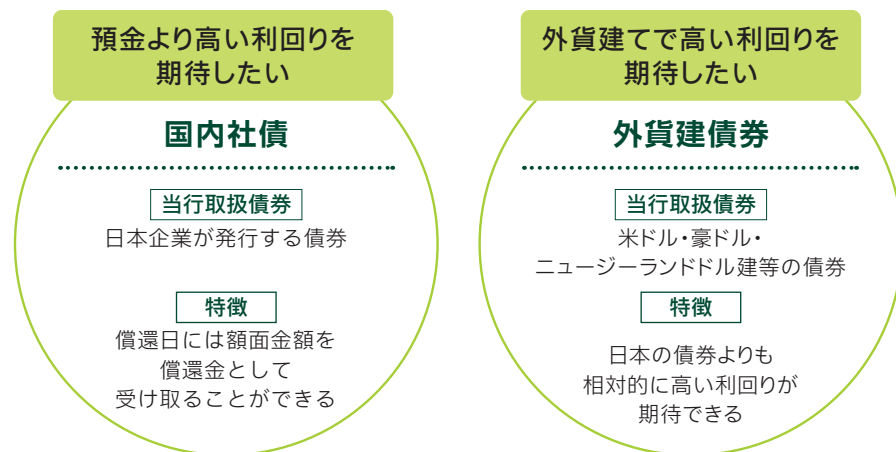
- 発行体の信用度・金利・為替等の影響により元本割れとなるリスク、利金や償還金の支払いが遅れたり、支払いが行われないリスクがあります。
- 購入価格と売却価格との差額によって売却損が発生するリスクがあります。



上記はイメージです。

債券（金融商品仲介）の主なラインアップ

さまざまな発行体や通貨の債券があります。

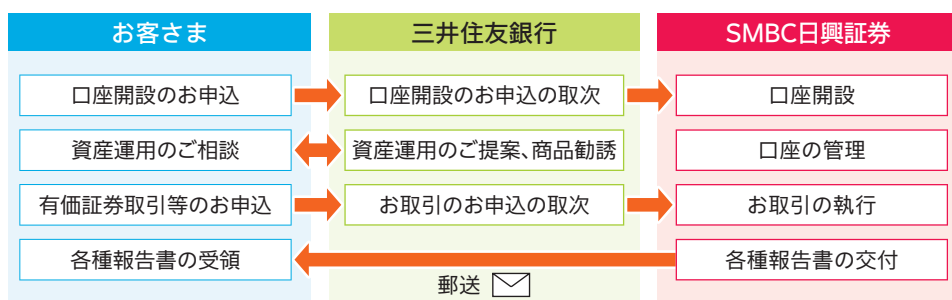


制度・しくみの説明

金融商品仲介業務のしくみ

三井住友銀行で取り扱っている債券の取引の相手方はSMBC日興証券になります。

三井住友銀行は、SMBC日興証券の委託を受けて、「有価証券の売買等の仲介業務や勧誘行為」を行っています。



積立商品・サービス

将来必要となるお金の準備を「一定」の頻度と金額で準備できる商品です。

計画的に時間をかけて積立していく

積立預金

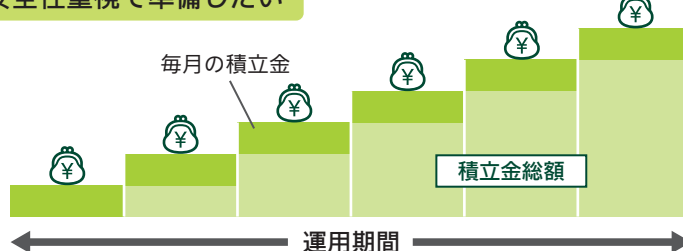
◎ メリットは？

- 安全性・換金性が高い商品です。
- 預金保険制度の対象です。

❗ 気をつける点は？

- 収益性は低く、物価上昇時(インフレ)に実質的なお金の価値は下がります。

安全性重視で準備したい



上記はイメージです。

外貨・投信自動積立、SMBCファンドラップ定期積立

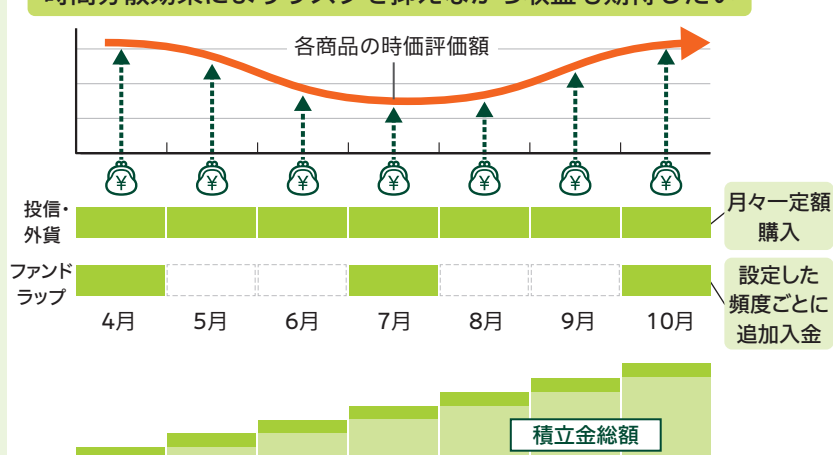
◎ メリットは？

- 自動的に積立するため都度のお手続きが不要です。
- ドルコスト平均法(下記④参照)での時間分散効果により、マーケットの影響を抑えることが期待できます。
- 投信自動積立のみ、非課税制度(NISA)の利用が可能です。

❗ 気をつける点は？

- 為替変動リスクや価格変動リスクがあります。
- 元本保証ではありません。
- 為替手数料や運用中の費用(コスト)がかかります。

時間分散効果によりリスクを抑えながら収益も期待したい



上記はイメージです。

※頻度は商品・サービスによって異なります。

※SMBCファンドラップは、ご契約金額が300万円以上ある場合に定期積立をお申しいただけます。

💡 おすすめポイント

ドルコスト平均法でマーケットの影響を抑えることが期待できます。

価格が変動する商品に対して「常に一定金額を、定期的」に投資する方法です。投資金額を一定にすることで、「価格が低いときには購入量(口数)が多く、価格が高いときには購入量(口数)が少なく」なります。

※右記は積立投信の効果を示すためのイメージ図であり、実際の投信自動積立の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

例：〈投資信託をりんごに例えてみると〉

りんごの買い方	1個100円で買えるとき	1個50円で買えるとき	合計	平均購入単価
毎回同じ金額 1,000円ずつ購入	10個買える (1,000円) 🍏🍏🍏🍏🍏...	20個買える (1,000円) 🍏🍏🍏🍏🍏...	2,000円で 30個買える 🍏🍏🍏🍏🍏...	約67円 🍏🎯
毎回同じ数量 10個ずつ購入	10個買う (1,000円) 🍏🍏🍏🍏🍏...	10個買う (500円) 🍏🍏🍏🍏🍏...	1,500円で 20個買える 🍏🍏🍏🍏🍏...	75円 🍏📉

必ずご確認ください 積立商品・サービスの留意点は各ページ(投資信託:17ページ、ファンドラップ:18ページ、外貨預金:19ページ)をご覧ください。

平準払保険

病気やケガ、介護等不測な事態に備えて
必要な保障を準備できる保険商品です。

予期せぬ支出に備えて保障を準備

◎ メリットは？

- 病気、ケガ、介護が必要になった際、速やかにお金の準備ができます。
- 月々の保険料を支払うことで、契約時に定めた所定の条件を満たした場合、すでに支払った保険料と比べ比較的大きな保障を得られます。
- 月払いや年払い等、保険料の支払い方法が選択できます。

❗ 気をつける点は？

- 解約返戻金は、払い込んだ保険料を下回る場合があります。
- 保険金の支払が発生せず、保険期間が終了した場合でも、返戻金がない場合があります。
- 保険機能にかかる費用があります。

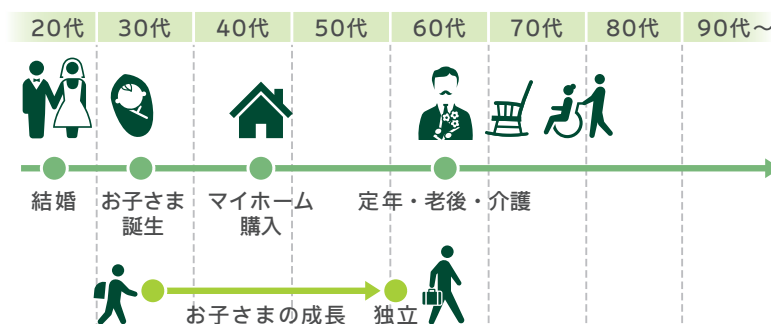
保険機能にかかる費用

- ▶ 保険関係費用
- ▶ 年金管理費用 等
- ・商品によってかかる費用は異なります。

保障準備のポイント

お客さまに必要な保障金額はライフステージによって異なります。ライフステージにあった保障をプランニングしましょう。

ライフイベント



必要な備え



上記は生命保険に関する一般的な考え方を示したものです。実際の内容は保険商品・ご契約ごとに異なります。

選べる保障内容

お客さまやご家族にとって必要な保障は、大きく5つに分けられます。

生活を守る

万一の場合に
備えたい

死亡保障

保険の種類

定期保険
終身保険 等

子どもの将来の
教育資金等に
備えたい

子どものための 保障

保険の種類

子ども保険
個人年金保険 等

ゆとりある老後の
生活に備えたい

老後保障

保険の種類

個人年金保険 等

未来に備える

介護が必要となる
事態に備えたい

介護保障

保険の種類

介護保険 等

不測の事態に備える

病気やケガによる
入院・手術に
備えたい

医療保障

保険の種類

医療保険
がん保険 等

必ずご確認ください

本商品の留意点は20ページをご覧ください。

個人年金保険

ご自身のライフプランに応じてさまざまな受取方法を選択できる保険商品です。

将来受け取れる自分だけの年金を準備しましょう

◎ メリットは？

- 年金の受取方法を選択できます。
- 万一の死亡保障がついています。
- 運用成果を年金として受け取れる期待が持てます。

❗ 気をつける点は？

- 資産運用の観点では一般的には他の運用商品と比べて運用効率が悪くなります。
(保険機能にかかる費用があります)

保険機能にかかる費用

- ▶ 保険関係費用
- ▶ 運用関係費用
- ▶ 年金管理費用 等

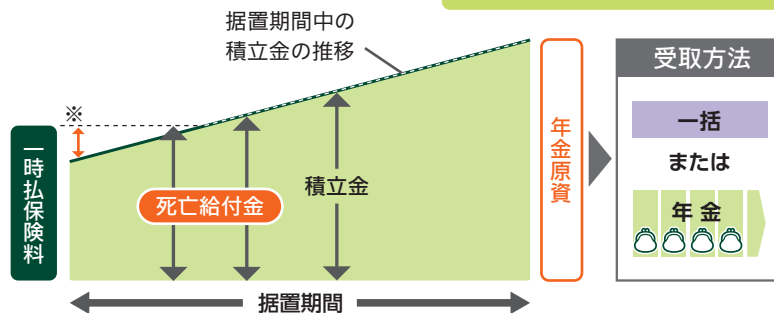
・商品によってかかる費用は異なります。

- 運用成果によっては、年金原資や年金受取総額や解約返戻金が保険料を大きく下回る場合があります。

個人年金保険のしくみ

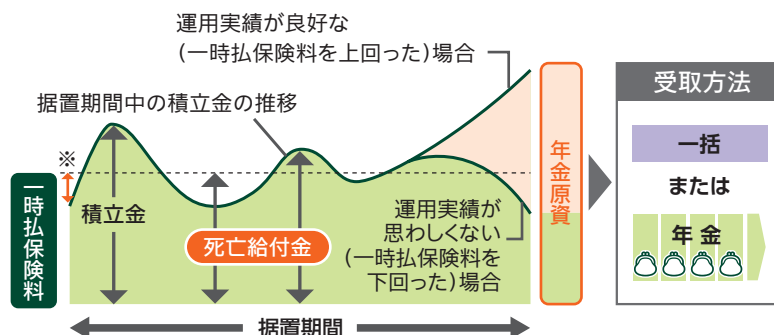
定額個人年金保険 (円建／外貨建)

将来に向けて確定した資金を準備したい



変額個人年金保険 (円建／外貨建)

運用成果によって収益も期待しながら準備したい



(※)一部の商品については、契約時に契約時費用が差し引かれる場合があります。

上記は一般的な個人年金保険の商品性のイメージであり、商品によって内容が異なります。

💡 おすすめポイント

受取方法は選択できます 一生涯にわたって年金を受け取ることも可能です

個人年金保険のさまざまな受取方法の中から、一生涯にわたって年金が受け取れる「終身年金」を選択することもできます。

※一般的に将来の年金額は年金受取開始時点の年金原資および、基礎率等(予定利率、予定死亡率等)に基づき算出されますので、契約時点では定まっていません。

※右記は、一般的な個人年金保険のイメージ図であり、契約形態・商品によって細部が異なります。

受取方法	受取イメージ
一括受取	年金原資一括 年金原資を一括して受け取ります。
確定年金	年金原資 一定期間、年金を受け取ります。 ←年金受取期間→
終身年金	年金原資 一生涯にわたって、年金を受け取ります。

一時払終身保険

大切な方へのこすことができる保険商品。
相続対策にも有効です。

万一に備えて保障を準備しましょう

◎ メリットは？

- 一生涯にわたって死亡保障が続きます。
- 相続税の非課税枠があります。

❗ 気をつける点は？

- 資産運用の観点では一般的には他の運用商品と比べて運用効率が悪くなります。
(保険機能にかかる費用があります)

保険機能にかかる費用

- ▶ 保険関係費用
- ▶ 運用関係費用
- ▶ 年金管理費用 等

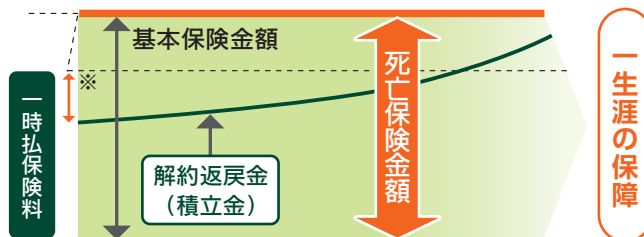
・商品によってかかる費用は異なります。

- 解約時には払い込みした保険料を下回る可能性があります。

一時払終身保険のしくみ

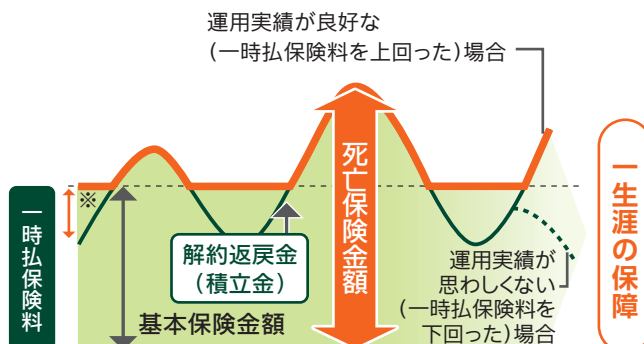
定額終身保険 (円建／外貨建)

確定した保険金額を
家族にのこしたい



変額終身保険 (円建／外貨建)

運用成果に応じた
保険金額を家族にのこしたい



(※) 一部の商品については、契約時に契約時費用が差し引かれる場合があります。

上記は一般的な一時払終身保険の商品性のイメージであり、商品によって内容が異なります。



おすすめ ポイント

効率的な納税資金準備

生命保険は大切なご家族に資産をのこすだけでなく、納税資金の準備にも有効です。

POINT 1

速やかにお金を受け取れます

POINT 2

受取人を指定してお金のがのこせます

POINT 3

非課税枠を活用できます

生命保険金の
相続税非課税枠

=

500万円

×

法定相続人の数

本資料にてご案内している金融商品等のお取引の際は、必ずご確認ください。

■ 投資信託に関する留意点

[該当商品]投資信託…P.5-6、積立商品…P.13

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは当行本支店等にご用意しています。
- 投資信託のご購入、換金にあたっては各種手数料等（購入時手数料、換金時手数料、信託財産留保額等）が必要です。また、これらの手数料等とは別に信託報酬と監査報酬、有価証券売買手数料等その他費用等を毎年、信託財産を通じてご負担いただきます。お客さまにご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となります。
- 投資信託のご購入、換金にあたって円貨から外貨または外貨から円貨へ転換の際は、為替手数料が上記の各種手数料等とは別にかかります。購入時と換金時の適用為替相場には差があるため、為替相場に変動がない場合でも、換金時の円貨額が購入時の円貨額を下回る場合があります。
- これらの手数料等は各投資信託およびその通貨・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は、目論見書・販売用資料等でご確認ください。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 外国投資信託のお取引にあたっては外国証券取引口座の開設が必要になります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 当行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

■ NISA口座に関する留意点

[該当商品]投資信託…P.5-6

- NISA口座開設には、投資信託の特定口座または一般口座の開設が必要です。
- NISA口座は、すべての金融機関を通じて、同一年において1人につき1口座しか開設できません（金融機関を変更した場合を除く）。なお、所定の手続のもとで、金融機関の変更が可能です。金融機関の変更を行い、複数の金融機関でNISA口座を開いたことになる場合でも、各年において1つのNISA口座でしか投資信託等を購入することができません。また、NISA口座内の投資信託等を変更後の金融機関に移管することもできません。なお、金融機関を変更しようとする年分の年間投資枠で、すでに投資信託等を購入していた場合、その年分について金融機関を変更することはできません。
- NISA制度では、年間投資枠（つみたて投資枠：120万円／年、成長投資枠：240万円／年）と非課税保有限度額（両枠合算で1,800万円、うち成長投資枠1,200万円）の範囲内で購入した投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得等が非課税となります。つみたて投資枠は、つみたて投資枠に係る積立契約（累積投資契約）に基づく定期かつ継続的な方法による買い付け（投信自動積立での積立）でのみ利用可能です。年間投資枠は受渡日基準で算定され、年を跨いだ取引については翌年の年間投資枠を費消します。非課税保有限度額については、NISA口座内の投資信託等を解約した場合、当該解約した投資信託等が費消していた非課税保有限度額の分だけ減少し、その翌年以降の年間投資枠の範囲内で再利用することが可能となります。
- 金融機関によって、取り扱うことのできる金融商品の種類およびラインアップは異なります。当行では、税法上の公募株式投資信託のみ取り扱っています。なお、成長投資枠の対象商品はNISA制度の目的（安定的な資産形成）に適した投資信託等（信託期間20年未満、毎月分配型、デリバティブ取引を用いた一定の投資信託等は除外されています）、つみたて投資枠の対象商品は長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託に限られます。対象商品の詳細は、当行ホームページをご確認ください。
- NISA口座における配当所得および譲渡所得等は、収益の額にかかわらず全額非課税となりますが、その損失は税務上ないものとされるため、特定口座や一般口座で保有する他の投資信託等の配当所得および

譲渡所得等との通算はできず、当該損失の繰越控除もできません。

- 投資信託における分配金のうち元本払戻金(特別分配金)は、そもそも非課税であり、制度上のメリットを享受できません。また、当該分配金の再投資を行う場合には、年間投資枠が費消されます。
- 2023年までにNISA口座で購入いただいた投資信託の非課税期間終了時の取扱いに関して、NISA、つみたてNISAともに非課税期間終了時にNISA口座内でお客さまが保有される投資信託等は、特定口座等に時価で払い出しします(2024年以降の新しいNISA口座に移管(ロールオーバー)することはできません)。
- 税金に関するご相談については、専門の税理士等にご相談ください。
- このご案内は、作成時点における法令その他の情報に基づき作成しており、今後の改正等により、取扱いが変更となる可能性があります。

■ 個人型確定拠出年金(iDeCo)に関する留意点

[該当商品]投資信託…P.5-6

- 個人型確定拠出年金で、掛金の拠出(積立)をされる場合、加入資格を満たしている必要があります。
- 運用の方法(運用商品)に係る情報提供はジャパン・ペンション・ナビゲーター株式会社が行います。
- 確定拠出年金に加入すると、原則60歳までお客さまの資産を引き出すことができません。
- 運用方法はお客さまにご決定いただきます。運用リスクはお客さまご本人が負うことになります。
- お客さまの運用成果が将来の受取額に反映されます。運用成果によって掛金元本を下回ることがあります。
- 口座管理等に必要な手数料はお客さまにご負担いただきます。

■ SMBCファンドラップに関する留意点

[該当商品]ファンドラップ…P.7-8

- SMBCファンドラップは、SMBC日興証券が提供する投資一任運用サービスです。
- SMBCファンドラップは、当行のサービスではありません。SMBCファンドラップをご利用いただくにあたって、お客さまとSMBC日興証券との間で投資一任契約を締結していただきます。
- 当行はSMBC日興証券との契約に基づきSMBC日興

証券の代理人としてお客さまと投資一任契約の締結の代理をいたしますが、契約の相手方は当行ではなくSMBC日興証券となります。

- SMBCファンドラップは預金ではありません。
- SMBCファンドラップは、投資者保護基金の支払対象ですが、預金保険の対象ではありません。
- SMBCファンドラップの投資対象資産には、価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク、為替変動リスク、カウンターリスク等があります。これらのリスクにより、投資元本は保証されたものではなく、元本割れとなることがあります。投資一任契約に基づく運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。
- SMBCファンドラップは、お客さまの純資産総額に応じて、個別契約*ごとに定期的に報酬をお支払いいただきます。報酬体系は固定報酬型と成功報酬併用型の2種類からお選びいただけます。
 - ④固定報酬型：
基本報酬率/上限年率1.54%<消費税込>
 - ⑤成功報酬併用型：
基本報酬率/上限年率1.21%<消費税込>、
成功報酬率/該当利益に対し一律11.0%<消費税込>* SMBCファンドラップの契約には、投資一任契約にかかる基本事項全般を定めた「基本契約」と個別ポートフォリオの投資一任運用において必要な事項全般を定めた「個別契約」があります。
- 上記報酬以外に各ファンドに係る信託報酬、有価証券等の売買手数料、信託事務の処理等に要する諸費用(監査報酬を含みます)をファンドの信託財産から間接的にご負担いただきます。また、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用するファンドについては、その他に、投資対象とする投資信託の信託報酬等をファンドの信託財産から間接的にご負担いただきます。
- お客さまにご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となります。これらの手数料等は、資産配分の状況、各ファンドの時価変動によって変動するため、具体的な金額、計算方法を記載することができません。各手数料等の詳細は、目論見書等でご確認ください。
- SMBCファンドラップのお取引にあたっては、サービスの詳細な内容を記載した契約締結前の書面等をお渡しいたします。必ず内容をよくご確認のうえ、投資等の最終決定はご自身でご判断いただくようお願いいたします。

■ 外貨預金に関する留意点

[該当商品]外貨預金…P.9-10、積立商品…P.13

- ご検討にあたっては、最新の「商品説明書」を必ずご覧ください。「商品説明書」は当行本支店、ホームページ等にご用意しています。
- 外貨預金には、為替変動リスクがあります。外国為替相場の動向等によっては、払戻時の円貨額がお預入時の円貨額を下回る等、「元本割れ」が生じるリスクがあります。
- TTSレート(円貨から外貨に替えるレート)とTTBレート(外貨から円貨に替えるレート)には差(米ドルであれば1米ドルあたり2円)があります。そのため、外国為替相場に変動がない場合でも、払戻時の円貨額がお預入時の円貨額を下回り、「元本割れ」が生じるリスクがあります。
- TTSレートとTTBレートの差は往復の為替手数料に相当し、相場公表通貨における差は1通貨単位あたり最大16円です。
- 外貨によるお預け入れまたはお引き出しの際には原則、手数料がかかります。外貨現金の場合、たとえば米ドルであれば1米ドルあたり2円がかかります。送金等その他の手数料については、お取引内容により異なりますので、あらかじめ表示することができません。
- その他の通貨におけるTTSレートとTTBレートの差および外貨現金の取扱手数料等は、前記とは異なりますので窓口までお問い合わせください。
- 外貨預金は、預金保険の対象外です。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- インターネットバンキング(SMBCダイレクト)での外貨預金取引は、18歳以上の方に限ります。

■ 個人向け国債に関する留意点

[該当商品]個人向け国債…P.11

- ご検討にあたっては、最新の「商品説明書」を必ずご覧ください。「商品説明書」は当行本支店等にご用意しています。
- 通帳式の場合、最大年1,320円(消費税込)の口座管理手数料をご負担いただきます。
- 発行体である国の財政難等により利払いや償還が遅延したり、不能になるリスク(デフォルトによる「元本割れリスク」)があります。また、繰上償還や買入消却が行われ、当初の満期償還日まで運用することができなくなるリスクがあります。

- 発行から一定期間等、中途換金できない場合があります。
- 中途換金時の受取金額は中途換金調整額の差引後の金額となります。
- インターネットバンキング(SMBCダイレクト)での個人向け国債取引は、18歳以上の方に限ります。

■ 金融商品仲介に関する留意点

[該当商品]債券(金融商品仲介)…P.12

- ご検討にあたっては、最新の「目論見書」「販売説明書」「契約締結前交付書面」を必ずご覧ください。これらは、当行本支店等にご用意しています。
- 債券を、当行の金融商品仲介にもとづき、SMBC日興証券との相対取引により、当該債券の建て通貨で購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます(別途、経過利息をお支払いいただく場合があります)。
- 債券のご購入、ご売却にあたって円貨から外貨または外貨から円貨への転換の際は、為替手数料がかかります。購入時と売却時の適用為替相場には差があるため、為替相場に変動がない場合でも、売却時の円貨額が購入時の円貨額を下回る場合があります。
- 為替手数料は通貨や購入金額、売却金額により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。為替手数料については、当行の窓口までお問い合わせください。
- 当行が金融商品仲介で取り扱う商品は元本保証ならびに利回り・配当の保証のいずれもありません。
- 金利の変動等による債券価格の上昇・下落、為替相場や株式相場の変動、発行者の財務状況の変化等により、投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクはお客さまのご負担となります。
- 当行が金融商品仲介で取り扱う商品のご購入にあたっては、委託元証券会社に「証券総合口座」および「外国証券取引口座」を開設いただく必要がありますので、当行がお取り次ぎいたします。
- 当行が金融商品仲介で取り扱う商品は預金ではありません。
- 当行が金融商品仲介で取り扱う商品は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 金融商品仲介で取り扱う商品は委託元証券会社にて保護預りしますので、投資者保護基金の対象となります。
- 外国債券の場合、利金のお受取は、利払日の原則翌

営業日以降、償還金のお受取は、償還日の原則翌々営業日以降となります。なお各債券の取扱休業日は別途お問い合わせください。

- 販売額に限度がございますので、売り切れの際はご容赦ください。
- 債券に関する価格情報および格付の状況等につきましては当行までお問い合わせください。
- 税金に関するご相談については、専門の税理士等にご相談ください。
- このご案内は、作成時点における法令その他の情報に基づき作成しており、今後の改正等により、取り扱いが変更となる可能性があります。

■ 生命保険全般に関する留意点

〔該当商品〕平準払保険…P.14、個人年金保険…P.15、一時払終身保険…P.16

- ご検討にあたっては、各保険商品の商品パンフレット・契約概要・注意喚起情報・設計書・ご契約のしおり・約款・特別勘定のしおり等の資料をお客さまご自身で必ずご確認ください。
- 一部の商品については、ご契約時の契約時費用のほか、ご契約後も毎年、保険関係費用、運用関係費用、年金管理費用等がかかります。また、商品やご選択いただく特別勘定、年金の受取方法等により異なりますので表示することができません。また、一定期間内に解約された場合、解約控除がなされる場合があります。お客さまにご負担いただく手数料等はこれらを足し合わせた金額となります。
- 外貨建ての保険商品のご購入または年金や死亡給付金、死亡保険金等のお受取にあたって、外貨と円貨を交換する場合には為替手数料等が上記の各種手数料等とは別にかかります。為替手数料等は通貨および金融機関等によって取扱が異なりますので表示することができません。くわしくは、各金融機関の窓口でご確認ください。
- 当行による元本および利回りの保証はありません。
- 一部の商品については、国内外の株式や債券等で運用しているため、株価や債券価格の下落や市場金利の上昇、外国為替相場の変動等により、年金、死亡保険金、解約返戻金等が払込保険料を下回るリスクがあります。
- 外貨建ての保険商品の場合、外国為替相場の変動により、年金、死亡保険金、解約返戻金等を円換算した金額が、払込保険料を円換算した金額を下回るリスクがあります。

- 保険商品は、引受生命保険会社が保険の引受を行う商品であり、預金ではありません。当行は、募集代理店として、契約の媒介を行います。契約の相手方は、当行ではなく、引受生命保険会社となります。このため、保険契約は、お客さまからの保険契約のお申込に対して保険会社が承諾したときに有効に成立します。
- 保険商品は、預金保険の対象ではありません。預金保険については、窓口までお問い合わせください。
- 引受生命保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構により保護の措置が図られますが、ご契約の際にお約束した死亡給付金額・年金額、死亡保険金額・解約返戻金額等が削減されます。その結果、死亡給付金額・年金額、死亡保険金額、解約返戻金額等が払込保険料を下回るリスクがあります。
- 保険商品のお申込の有無がお客さまと当行とのお取引に影響をおよぼすことは一切ありません。
- 当行では借り入れられた資金(他の金融機関での借入金を含みます)を保険料とする保険商品のお申込はお断りしています。
- 法令上の規制により、お客さまのお勤め先や、融資のお申込状況等によっては、お申し込みいただけない場合がございます。
- 保険会社による保険金や給付金等のお支払について、受取人の故意による場合や、健康状態等についてお客さまが事実を告知されなかったり事実と異なることを告知された場合等、保険金や給付金等が支払されない場合がございます。
- 保険会社への保険料のお払込について、保険料お払込の猶予期間中に保険料のお払込がない場合、ご契約は失効します。失効した場合、保険金や給付金等の支払事由に該当した場合でも、保険金や給付金等が支払われません。
- くわしくは各保険商品の商品パンフレット・契約概要・注意喚起情報・ご契約のしおり・約款等をご確認ください。

将来のために、お金の計画を立てませんか

Step 1 「色分け」の検討

✎ 今後の使いみちによって、
お金を「色分け」してみましょう

当面の生活費として 確保しておくお金

ある程度の期間の
「予備の生活費」は
確保しておきましょう

万円

(参考)
たとえば60代の方が半年分の
生活費を確保しておく場合
約30万円※1×6ヵ月＝約180万円

総金融資産

万円

当面使う予定の ないお金

当面使う予定のないお金に
ついては、今後の人生計画と
あわせて考えてみましょう

万円

「当面使う予定のないお金」を
さらに目的別に
「色分け」してみましょう

当面の
生活費として
確保しておく
お金

当面使う予定の
ないお金

使いみちの
決まっている
お金

使いみちの 決まっているお金

マイホームのご購入や
リフォーム資金、お子さまの
教育費・結婚資金等、必要な
お金を確保しておきましょう

万円

老後のためのお金

万円

大切な方へのこすお金

万円

万一のために備えるお金

万円

使いみちの決まっていないお金

万円

※1 総務省統計局「家計調査報告(家計収支編) 令和5年」二人以上の勤労者世帯

✎ メモ

Step2 金融資産の把握

✎ ご自身の大切な資産について整理してみましょう

すべての金融機関の預貯金を把握されていますか？

お持ちの資産にチェック

- ☐ 円預金 ☐ 社内預金
☐ 外貨預金



時価はどれくらいかご存じですか？

お持ちの資産にチェック

- ☐ 投資信託 ☐ 株式
☐ 自社株 ☐ 債券

保険の契約内容をご存じですか？

ご契約中の保険にチェック

- ☐ 死亡保険 ☐ 医療保険 ☐ 介護保険
☐ 子ども保険 ☐ 個人年金保険

Step3 収支の把握

✎ 毎月の収支を確認しましょう

収入合計

万円

－

支出合計

万円

=

万円

現在どのように貯蓄されていますか？

- ☐ 円預金(普通・定期・積立) ☐ 個人年金保険
☐ 外貨預金 ☐ 個人型確定拠出年金(iDeCo)
☐ 財形・社内預金 ☐ 少額投資非課税制度(NISA: つみたて投資枠・成長投資枠)

Step4 貯蓄目的の確認

✎ 目的にあった準備ができているかを確認しましょう

あてはまる箇所にチェック

当面の生活費として確保しておくお金

次のうち利用している決済方法がありますか？

- ☐ クレジットカード ☐ デビットカード
☐ 特になし

使いみちの決まっているお金

どのような使いみちでしょうか？

- ☐ 住宅費 ☐ 教育費 ☐ その他

当面使う予定のないお金

1 老後のためのお金

公的年金以外で準備されていますか？

- ☐ 公的年金以外で準備中

2 大切な方へのこすお金

大切な方へのこすことをお考えですか、それはどなたですか？

- ☐ 配偶者さま ☐ お子さま
☐ お孫さま ☐ その他

3 万一のために備えるお金

どのような場合に備えておきたいかを聞かせていただけますか？

- ☐ 病気・ケガ ☐ 介護
☐ その他

4 使いみちの決まっていないお金

景気変動からお金を守ることをお考えになったことはありますか？

- ☐ インフレリスクに不安がある

お気軽に店頭窓口もしくは下記までお問い合わせください

インターネットでくわしい情報にアクセスできます

スマートフォンは
こちらから▼



三井住友銀行ホームページ
www.smbc.co.jp



予約サービス

オンライン・店頭でご相談を承ります。

三井住友銀行 予約サービス 🔍

<https://www.smbc.co.jp/kojin/tenpo/soudan/>



オンラインセミナー

資産運用やマーケット動向に関するテーマを中心に、
セミナー動画を公開しています。

三井住友銀行 オンラインセミナー 🔍

<https://www.smbc.co.jp/kojin/webseminar/>



インターネット相談

お金についてのご相談に、
専門のコンサルタントがおこたえます。

三井住友銀行 インターネット相談 🔍

<https://www.smbc.co.jp/kojin/soudan/net/>

